

2025 年 8 月 6 日

ゲノム編集高糖度トマト、米国で規制対象外に

植物有害生物ではなく、外来遺伝子配列も持たないと米国農務省が判断

アグリバイオスタートアップであるグラントグリーン株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役 丹羽優喜、以下「当社」）がゲノム編集技術を用いて開発した高糖度トマトについて、米国農務省（USDA）動植物検疫局（APHIS）の Am I Regulated? (AIR) プロセスにて、7 CFR パート 340 に基づく規制対象とはみなされないことが 2025 年 6 月 25 日に公表されました。

これにより、当社の高糖度トマトは植物有害生物ではなく、外来遺伝子配列も持たないことが確認されました。

なお、本トマトは名古屋大学大学院生命農学研究科白武勝裕教授のグループの研究成果を利用して作出されました。

グラントグリーンは引き続き、「Envision Future Plants ～未来の植物を描こう」をスローガンに、作物種苗の迅速な開発を通して世の中に貢献して参ります。

詳細は USDA のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.aphis.usda.gov/biotechnology/regulated-article-inquiry>



図 1. 高糖度トマトの果実

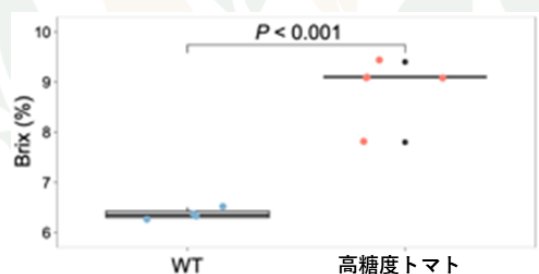


図 2. ゲノム編集前の系統 (WT) とゲノム編集後の高糖度トマト (高糖度トマト) の Brix の差

● グラントグリーンとは

次世代の農・食を創造する、研究開発型のアグリバイオスタートアップです。

グラントグリーンでは創業当初より、あらゆる作物でゲノム編集技術を利用可能にすることで、植物育種産業におけるゲノム編集の標準技術化を推進しています。現在、トマトやイネを始めとした10種類以上の作物において、実用品種へのゲノム編集技術の適用に成功しています。この作物ゲノム編集技術を用いた新たな作物品種の共同開発パートナーを募集中です。

■ 会社概要

会社名 グラントグリーン株式会社
事業内容 新品種創出
設立年月 2017 年 4 月
本社所在地 愛知県名古屋市千種区東山通五丁目 112
代表者 代表取締役 丹羽優喜
URL <https://www.gragreen.com/>

本件に関するお問い合わせ先

グラントグリーン株式会社 事業開発部 木藤
MAIL: info@gragreen.com / TEL: 052-753-3870

